

優秀賞
(SPRING賞)

プレミアム時短献立キット 「Kit Oisix(きっとおいしくくす)」

オイシックス株式会社 (東京都)



食事2品を20分で作れるレシピと食材の入った時短献立キット。農家との直接契約と自社の基準を達成した安心食材で食卓を彩る。食材・調味料・メニューが揃っているため、献立を考える手間や買い物の時間を短縮できる。

受賞
ポイント

- ★ 2品を20分で調理できる献立キットの宅配サービス。売り上げ数は250万個を突破
- ★ 安心食材、配達日時指定、調理知識不要など健康と時間短縮を両立して働く母親を支える
- ★ お客様宅訪問や子どものモニター「コドモニター」を通じて日々サービスやメニューを改善。事業者と顧客の共創サービスを実現している

事業内容

生産者と消費者をITでつなげる

オイシックスは、食のおいしさと安全を守り、強い想いを持って農産物をつくる生産者と、消費者とをつなぐ企業である。ECサイトを中心に展開し、これまで特別栽培農産物や無添加加工食品の定期購入サービス、産地直送サービスなどを提供してきた。

食の安心安全に関心の高い小さな子どもを持つ親や、忙しくて買い物に行く時間のないワーキングマザー、おいしいものへの探求心の強い層を中心に、さまざまな客層から支持を得ている。

サービスの背景と目的

料理の時短と満足度の高い食卓を両立

子どもを持つ忙しい女性を中心に、家事の中でも料理の時短化へのニーズが高い一方で、時短調理に対しては、「野菜が少ない」「使われている食材、原材料に不安がある」などの不満がある。

そこで、忙しい女性でも安心安全で野菜たっぷりのおいしい食事を簡単に作ることができ、諦めの時短ではなく満足度の高い食卓を実現していくために、同社の強みを活かして安心安全な食材を使った献立キットを開発した。

サービスの特徴と独自性

女性を助ける“プレミアム時短献立キット”

「Kit Oisix」は、食事2品分の材料とレシピをセットにした献立キットで、主な特徴に、次の5点がある。

- 1 5種類以上の野菜が摂れ、主菜・副菜が20分で完成
- 2 有機野菜や肉、魚など Oisix 独自の基準を満たす食材を使用
- 3 調理の手間となる食材はカット、必要量を計量してお届け
- 4 見やすいレシピカードやオリジナルの合わせ調味料も一緒にお届け
- 5 シェフや料理研究家などのプロが監修する本格的なメニューを毎週10種類以上用意し、食卓のマンネリを解消

ECサイトで販売し利便性に優れる

ECサイト「Oisix」での販売のため、パソコン、スマートフォン、タブレット端末などで、隙間時間を利用していつでも注文できる。また、土日を含め日時指定が可能な宅配により、柔軟性の高い受け取り環境を実現した。

サービスをつくりとどけるしくみにおける工夫

「コドモニター」で子どものニーズを取り入れる

大人だけでなく子どもにも意見を聞く「コドモニター」を定期開催し、レシピ開発に活かしている。実際にその場で食事してもらい、商品化の決定権を子どもにゆだねる。不採用になった場合はその理由を聞いて、再調理・再提案し子どもが本当に食べたいメニューに近づけている。

定期的なお客様インタビュー

定期的に多数の利用者に来社いただき、インタビューや実際にサイトを使う様子のモニタリングを行うことで、お客様目線での商品や Web サイトの改善に努める。また Web サイト上でも顧客アンケートを実施し、継続的なサービス改善を実現。

新しい価値提供へのチャレンジ

「プレミアム時短」の価値実現のため、夏場は火を使わないメニュー、冬場は鍋キット、子どもの日や母の日・クリスマスなどの記念日向けのメニューなどを開発し、マンネリ防止や話題性の創出につなげている。

組織データ

組織名	オイシックス株式会社	創立年月日	2000年6月
業種	小売	本社所在地	東京都品川区
URL	http://www.oisix.com	従業員数	205名

得られた成果や与えた社会的影響

対前年比240%の成長率

簡単に調理できる献立キットとして好評を得ており、2016年4月には売上数が250万個を突破。対前年比で240%の成長率を誇る。

女性活躍推進を後押し

女性の家事負担を減らし、男性でも調理できることで家事シェアも可能になるため、女性活躍推進に寄与している。女性の活躍を推進する企業が福利厚生として導入するなど、働く女性の日常生活のサポートにもなっている。

野菜の消費による農業の活性化

本サービスでは時短料理であっても、野菜を多く摂れるサービスを行うことで、野菜の消費が増えることにつながっている。野菜は生産者と直接契約し、独自の安全基準を満たした付加価値の高い食材を仕入れており、さらに放射性物質に関する自社検査も実施している。

食文化の育成

時短ではありながらも、レトルト食品や外食などではなく、自分で調理できるため、家庭での手作り料理を普及している。また、子どもと一緒に作れる“親子で一緒につくるシリーズ”も販売。料理作りを通じた子どもとのコミュニケーションにもつながっている。



「コドモニター」による商品化検討の様子